



平成25年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所 大  
 コード番号 6662 URL http://www.ubiteq.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)荻野 司  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)明石 直人 (TEL)03(5487)5560  
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第3四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	1,829	△28.8	△124	—	△55	—	△42	—
24年6月期第3四半期	2,569	△10.9	158	△52.2	177	△46.8	95	△45.0

(注) 包括利益 25年6月期第3四半期 △40百万円(-%) 24年6月期第3四半期 98百万円(△45.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	△296 53	— —
24年6月期第3四半期	666 17	655 42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第3四半期	3,682	3,319	88.4
24年6月期	4,124	3,392	81.0

(参考) 自己資本 25年6月期第3四半期 3,256百万円 24年6月期 3,339百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	— —	0 00	— —	300 00	300 00
25年6月期	— —	0 00	— —		
25年6月期(予想)				300 00	300 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,650	1.0	150	△19.5	200	△6.5	100	△2.9	699 79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期3Q	144,372株	24年6月期	144,300株
25年6月期3Q	1,400株	24年6月期	1,400株
25年6月期3Q	142,933株	24年6月期3Q	142,770株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などにより緩やかな回復基調となり、新政権による経済対策や金融政策への期待感から円安、株価上昇が進むなど、景況感に明るい兆しが見られたものの、欧州債務問題の長期化、中国をはじめとする新興国における経済成長率の鈍化等により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。当社グループの関連市場においても、特に大手電機メーカーの収益悪化の影響により、設備投資抑制は続き、需要回復の遅れや価格低下圧力が強まる等、全般的に厳しい事業環境となりました。このような状況の中で、引き続きグループ全体によるローコストオペレーション体制を維持する中で、顧客先企業の影響を受けにくい自社製品・サービスの開発に注力してきました。

特に、省エネソリューション事業のUGSをさらに進化させた「BE GREEN Next (BGN)」やカーソリューション事業の車載システムについては、「自然に出来てしまう、やりたくなる省エネ」を実現する製品として、代理店や顧客との連携をより強化し、満足度の向上と機能強化のために更なる先行開発投資及び販売推進に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,829百万円（前年同四半期比28.8%減少）、営業損失は124百万円（前年同四半期は営業利益158百万円）、経常損失は55百万円（前年同四半期は経常利益177百万円）、四半期純損失は42百万円（前年同四半期は四半期純利益95百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 電子機器事業

電子機器事業は、紙幣鑑別ユニット等のATM向けセンシングモジュールが中国問題の影響を受けたこと、および、カーソリューション事業については車載端末の納入時期のずれが発生したことにより、前年同四半期比減収減益となりました。現在、納入時期の遅れを取り戻す作業に注力するとともに、センシングモジュールおよびカーソリューションシステムは競争力強化のための次機種開発を進め、新規量産のための開発案件と新規顧客の開拓にも着手しております。また、コスト削減については業務全体を見直しながら関係協力会社にもご協力頂き、仕入コストや外部委託費用についての削減を継続して進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,014百万円（前年同四半期比34.3%減少）、セグメント利益は88百万円（前年同四半期比72.6%減少）となりました。

#### モバイル・ユビキタス事業

モバイル・ユビキタス事業については、子会社のユビテックソリューションズは堅調に推移したものの、携帯電話評価業務の売上が大幅に減少したことにより、前年同四半期比減収減益となりました。携帯電話評価業務については、Androidを実装した端末・アプリケーションにおけるユーザビリティ評価や脆弱性検証のサービスを開始し、新分野への事業展開を推進していきます。省エネソリューション事業については売上貢献にはいたっておりませんが、「第7回ファシリティマネジメント大賞（JFMA賞）技術賞」、「平成24年度省エネ大賞省エネルギーセンター会長賞」を受賞し、BGNの省エネに対する有効性が認められました。さらに家庭用に開発した省エネシステム「BE GREEN Next Home」が平成23年度「エネルギー管理システム導入促進事業費補助金（HEMS導入事業）」に係る補助対象機器に認定されま

したので、これまでの受賞歴も生かし拡販につながるよう活動を進めています。また、BGN研究開発費用としてNEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）助成金が営業外収益に計上されております。今後もBGNの機能強化のための研究開発投資を進めて行く予定です。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は814百万円（前年同四半期比20.6%減少）、セグメント利益は7百万円（前年同四半期比88.3%減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は3,682百万円となり、前連結会計年度末から441百万円減少しております。主な内容としましては、受取手形及び売掛金が720百万円減少し、棚卸資産が118百万円、現金及び預金が117百万円増加しております。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は362百万円となり、前連結会計年度末から368百万円減少しております。主な内容としましては、支払手形及び買掛金が266百万円減少しております。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は3,319百万円となり、前連結会計年度末から72百万円減少しております。主な内容としましては、四半期純損失42百万円の計上と剰余金の配当42百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月10日に発表しました、平成24年6月期決算短信に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,584,692	2,701,884
受取手形及び売掛金	1,184,688	464,386
製品	6,726	72,030
仕掛品	29,052	77,665
原材料及び貯蔵品	17,461	21,894
繰延税金資産	16,229	35,084
その他	60,439	89,080
貸倒引当金	△1,566	△704
流動資産合計	3,897,724	3,461,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,566	64,409
減価償却累計額	△28,617	△24,179
建物及び構築物(純額)	23,949	40,229
工具、器具及び備品	244,722	212,005
減価償却累計額	△196,506	△171,295
工具、器具及び備品(純額)	48,216	40,710
リース資産	4,562	4,562
減価償却累計額	△1,520	△2,204
リース資産(純額)	3,041	2,357
有形固定資産合計	75,206	83,297
無形固定資産		
その他	14,309	11,739
無形固定資産合計	14,309	11,739
投資その他の資産		
投資有価証券	32,762	30,326
繰延税金資産	48,704	65,711
その他	55,608	30,544
投資その他の資産合計	137,075	126,582
固定資産合計	226,591	221,619
資産合計	4,124,316	3,682,941

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	480,180	213,640
未払金	49,174	26,640
未払法人税等	27,340	2,059
リース債務	958	958
賞与引当金	10,761	13,976
役員賞与引当金	17,000	1,500
その他	87,909	52,210
流動負債合計	673,324	310,985
固定負債		
退職給付引当金	54,805	49,590
リース債務	2,235	1,516
その他	1,107	858
固定負債合計	58,148	51,965
負債合計	731,472	362,951
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	880,794	881,302
資本剰余金	594,696	595,204
利益剰余金	1,952,962	1,867,708
自己株式	△75,474	△75,474
株主資本合計	3,352,979	3,268,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,221	△9,601
為替換算調整勘定	△3,157	△2,816
その他の包括利益累計額合計	△13,378	△12,417
新株予約権	32,797	41,958
少数株主持分	20,445	21,707
純資産合計	3,392,843	3,319,990
負債純資産合計	4,124,316	3,682,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
売上高	2,569,880	1,829,119
売上原価	1,943,707	1,521,520
売上総利益	626,173	307,599
販売費及び一般管理費	467,336	432,416
営業利益又は営業損失(△)	158,836	△124,816
営業外収益		
受取利息	1,943	1,811
受取配当金	2	—
為替差益	4,604	19,398
助成金収入	11,477	44,800
その他	1,337	6,541
営業外収益合計	19,365	72,552
営業外費用		
投資事業組合運用損	570	3,377
その他	38	13
営業外費用合計	609	3,391
経常利益又は経常損失(△)	177,593	△55,655
特別利益	—	—
特別損失		
固定資産除却損	1,357	1,685
固定資産売却損	849	—
投資有価証券売却損	1,682	—
特別損失合計	3,888	1,685
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	173,705	△57,341
法人税、住民税及び事業税	67,416	19,981
法人税等調整額	9,344	△36,182
法人税等合計	76,761	△16,201
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	96,943	△41,140
少数株主利益	1,834	1,242
四半期純利益又は四半期純損失(△)	95,109	△42,383

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	96,943	△41,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,512	621
為替換算調整勘定	△240	358
その他の包括利益合計	1,272	980
四半期包括利益	98,216	△40,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,394	△41,422
少数株主に係る四半期包括利益	1,821	1,262

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電子機器事業	モバイル・ユビ キタス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,544,004	1,025,876	2,569,880	—	2,569,880
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,544,004	1,025,876	2,569,880	—	2,569,880
セグメント利益	321,017	59,881	380,898	△222,061	158,836

(注) 1. セグメント利益の調整額△222,061千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△222,061千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電子機器事業	モバイル・ユビ キタス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,014,232	814,887	1,829,119	—	1,829,119
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,014,232	814,887	1,829,119	—	1,829,119
セグメント利益	88,031	7,004	95,035	△219,852	△124,816

(注) 1. セグメント利益の調整額△219,852千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△219,852千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。